

利用者聞き取り調査報告

虐待防止委員会 委員長 今村 彩

虐待防止委員会では、2021年度も利用者聞き取り調査を行いました。虐待及び虐待に繋がる不適切な対応がないかを調査し、結果を共有することで日常業務に活かしていくことを目的としています。

2020年度に引き続き、感染予防の観点から例年よりも規模を縮小し、4事業所計63名の皆さんから聞き取りを行いました。いわゆる虐待にあたるケースはありませんでしたが、1件をご意見として苦情解決委員会へと提出、22件を各事業所へ情報提供・報告いたしました。

不適切な対応に関する質問の中で比較的『ある』と回答される割合が高い『職員に声を掛けて、返事がなかったことは

ありますか?』については、2021年度実施した事業所では4.7%でした。2020年度の対象事業所では20.4%でしたが、調査結果の公開を受け、各事業所職員の意識的な関わりがあらわれた結果と思われます。一方、『困った時に職員は話を聞いてくれますか?直接職員に言えますか?』という質問では、「時間がなくて相談出来ない」等のコメントがありました。

今回の調査結果を真摯に受け止め、不適切な対応は起こり得るものと捉え、より良い支援について考えるきっかけとし、今後も法人全体として虐待防止を進め、利用者の皆さんの権利・尊厳を尊重した支援を実施していきたいと考えています。

ほっこり通信

今回は『ばれっとやまと』の水野職員のエピソードをご紹介します。



私が働いている『発達支援グループ ばれっと』は、児童の療育を行っている事業所です。現在、コロナウイルスの感染不安などの理由で少人数ではありますが、『ばれっと』に来所できないお子さんがいらしゃいます。そんなお子さん方を対象に、オンライン療育を行っているのですが、オンラインでは答えるまでに時差があることで、話すタイミングが難しいことがあります。また、相手に合わせて聞き取りやすいように、はっきり話すことやゆっくり話すことなど、コミュニケーションに苦手さを抱えているお子さんと、オンラインで会話をすることに難しさを感じていました。また同じように、お子さん側もうまく伝わらないと感じているように見えました。

でも、先日オンラインで関わっている思春期の男の子に、嬉しいことを言われました。彼とは、自由な会話をメインに療育をしています。ある日のこと、私が「そろそろ、お話始めて30分たったから最後にクイズやろうか?」と次の活動を促した時に「うそっ、もうそんな時間たった?」と言ってくれました。その言葉を聞いて“私との会話を時間が経つのを忘れるくらい楽しいと思ってくれたのかな?”と感じられ、心がほっこりした気持ちになり、明日も頑張ろうと思ったエピソードでした。



ご厚意に感謝申し上げます

焼き菓子製造販売「すずらの家」に、近隣の方から飲み物の差し入れをいただきました。

こちらに掲載させていただいた方々の他にも、年間を通して多くの方からご支援を頂戴しております。(地域活動への招待、授産作業のご紹介、設備品・玩具・本の寄贈など)福祉事業に対する温かいご理解を賜り、ご厚意に深く感謝申し上げます。

編集後記

広報委員会として、どのようなことを記事にすれば皆様の目にとめてもらえるか、委員会の中で試行錯誤しながら記事を作成しています。今回は職員のほっこりエピソードを記載しました。法人の取り組みや利用して下さっている方たちの声を地域に伝えるのはもちろんのこと、法人を支えている職員の日ごろ感じていることを伝えることで法人について更に知って頂けたら嬉しいです。

(広報委員会)

広報 すずらん

発行日：2022年4月1日 (平成8年創刊)
発行元：社会福祉法人すずらの会 理事長 松屋 直人 URL: http://www.suzuran.or.jp
所在地：〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台7-6-4 TEL: 042-745-8080
編集：広報委員会



第83号
2022年4月

新たな取り組み ジョブトレーニングプログラム ～変化する利用者のニーズに～ 大和市障害者自立支援センター

大和市障害者自立支援センター(以下センター)は基幹相談支援センター、虐待防止センターを併設した多機能型の福祉サービス提供事業所です。大和市の指定管理を受託した2006年から障害のある方への相談支援事業や就労訓練の場として就労移行支援事業を運営しております。

近年、一般企業が運営する就労移行支援事業所が増加し、提供されるサービス内容も利用する側のニーズも変化してきています。従来のように、訓練のメニューとして企業から受注した作業を提供するだけでなく、利用者の皆さんが自発的に自分に必要なスキルを考えられるようなプログラムも求められています。

変化するニーズに答え、センターも数年前から支援メニューを増やしました。ジョブトレーニングプログラムは、昨年導入した新しい取り組みです。一人一人が自分で考えて提案する機会を設けることや仕事の流れを体験することで、社会に順応するために必要な要素を身につけていくプログラムです。

昨年10月からはセンターに併設する『Café ふらっと』の集客アップのための企画立案に取り組みました。集客アップのための具体的な取り組みについて意見を出し合い、今年2月にバスボムづくりワークショップを開催しました。4組の方に参加していただき、楽しい時間を提供することができました。自分たちでイベントを企画して成功し、自信にもつながった様子です。このプログラムを始めたことで効果も見え始めています。

■サービス管理責任者の内藤職員に話を聞きました。
「あらたなプログラムを通して、利用者同士交流の機会が増え、就職に必要なコミュニケーション力が上がっているのを感じます。就職していく方やセンターの利用を希望される方が増えて、今年度は平均で20名の方が登録してくださっています。これからも利用者には選ばれる事業所にしていく必要があるため、皆さんがセンターで訓練したことで働いている自分をイメージできるプログラムを今後も提供したいです。」



進行も自分たちで取り組みました。



バスボム作成中!

■利用者に話を伺いました。
Sさん：20代男性、昨年8月より通所開始。
Q. センターで訓練して身についたと感じる力はありますか
A. マナー講座ではマナーというものが苦しいものではなく、相手のことを思いやりの行動だと学びました。

ジョブトレーニングでは実際のイベントを企画する体験をしたり、ほかの方と協力しながら、イベントを作り上げる経験が就労に必要なコミュニケーション力をつけることにつながっていると感じました。

Q. これからどんな訓練に取り組んでみたいですか
A. 自分が習得している作業のやり方をほかの利用者に伝えるような訓練に取り組んでみたいです。聞くだけではなく、他者に伝えることで自身の理解も深まるし、いろんな方が作業のやり方を知っているほうがスムーズに作業が進むと思います。

.....
内藤職員、Sさんありがとうございました。
現状の事業所の支援のあり方に満足せず、魅力的で選ばれる事業所であり続けるために常により良いサービス提供を検討していく必要があると襟を正される気持ちになりました。

(編集：広報委員会)

Cafe ふらっと

日替わりランチ ¥550

ベーグルサンド 鶏さぼろ丼
ハンバーグ キーマカレー
アラビアータ 谷ど!

定額メニュー 営業時間 日 休 休
11:00 ~ 16:30

¥610 ¥630

第1回ワークショップを開催!
親子でアロマオイル入りバスボム作りを楽しもう

2022年 2月 5日 土曜日

バスボム作り 10:00~11:30 お食事 11:30~
参加費:親子で2000円(食事・ドリンク付き)
※お一人増える毎に 大人1100円増 子供900円増

お申し込み期間 1/7~1/28
先着4組限定!

主催: Cafe ふらっと 大和市障害者自立支援センター TEL:046-265-5198 利用者作成

利用者の皆さんが制作した素敵なチラシ



左棟：「ひだまり」 右棟：「ひまわり」

より安全で快適な暮らしの実現のために ～新設グループホーム報告～

利用者の皆さん・ご家族・職員の声をご紹介します。



利用者の皆さんの声



ご家族の声



職員の声

前号でもお伝えしましたが、当法人のグループホーム「さんたらっぶ」が相模原市のハザードマップで浸水地域の指定を受けたことや「なるみハイツ」を利用している方への支援の向上を目的に、グループホームを再編し、2022年2月より、原当麻地区に新たなグループホームを開所しました。

ホームの名称は職員や利用者の皆さんから広く募集し、30個も候補が出されたとのこと。その後何回かの投票を経て、最終的に温かみを感じられる「ひだまり」と「ひまわり」に決めました。

■ホームの高橋代表に新しいグループホームの概要を聞きました。「ひまわりは、もともと別の2ホームを利用していた方が移ってきたホームです。比較的支援度の高い方対象のグループホームで、宿直の職員を配置しています。将来の高齢化にも対応できるように、室内が設計されています。また、防犯や火災防止にも力を入れて、スプリンクラーや自動火災通報装置、防犯モニターの設置も行いました。通常は1階に配置するリビングを2階にして1階の居室数を増やし、災害時の避難がスムーズになるようにしました。」
「ひだまりも、もともと別の2ホームを利用していた方が移ってきています。ひまわりと同様に自動火災通報装置等を設置しています。リビングの天井の色を変えていて、ひだまりが茶色、ひまわりが青色です。」

「どちらのホームも現場で関わっている職員の意向も取り入れながら設計しました。おかげさまで、利用者の皆さんからはきれいになった、広くなったとの声をいただいています。また、日中に通所する事業所の送迎も駐車場ができたことで動線がスムーズになり、負担が軽減されたと感じています。様々な物の置き場所や電源スイッチの場所など慣れていくのに時間が必要かと思いますが、今後も利用者の皆さんにとってより安心安全便利な生活の実現のために、いろいろな意見を聞きながら、改善を続けていきたいと思っています。」

利用者の皆さんの毎日の生活をよりよい環境にするために、細かいところまで目配り気配りしていく必要があることを再認識しました。今後も、皆さんにとって楽しく生活できるグループホームを目指し、環境整備や支援に取り組んでいきます。

(編集：広報委員会)



きれいだし、毎日が楽しいです！うきうきしています。

玄関がバリアフリーで、利用者の皆さんに優しいと思います。げた箱も大きくて良いですね。

コンビニが近いから、天気が悪くてもすぐに買いに行けて、とってもうれしいです。

駐車場が道に面しているのので、車を入れやすく停めやすいです。

駅前がひらけているのが良いです。スーパーマーケット、ドラッグストア、100円均一店、ファッション関係とか、いろいろな店があるんですよ。

各階にトイレはありますが、娘が使う階のトイレは少し狭いでしょうか。支援してもらっているので、もう少し広い方が良かったかなと思います。



新しいホームの名前、覚えましたが！世話人が替わっちゃったけど、大丈夫。



おいしいご飯が出ます。新しい職員も優しいです。

利用者の皆さんやご家族が喜んでいる様子を見て、職員としてもうれしく思います。



リビングのテレビが大きくて見やすいです。

食べ終わった後に、いっぺんに2人で自分の食器が洗えるのが良いです。

さっそく、誕生会がありました。ホーム行事を充実させてほしいです。

お風呂が広いし、何と言っても追いだきができるのが良いです！



掃除機を使うために、廊下にもコンセントがあると良かったです。居室のコンセントも、2か所ではなく3か所の方が便利でしたね。



今までより部屋が広がって、本人も快適そうです。とてもうれしいです。

週末は、ガイドヘルパーとの外出を増やしたりして、ホーム利用を考えています。

夕方早く帰って来られるし、実家にも近くなりました。

通所するのに、朝1時間遅くても大丈夫になりました。早起きが苦手なので…。

前のホームに比べて駅が近く店も多いので、皆さんにとって過ごしやすと思います。緑区に比べて、温度が3℃くらい暖かいですね。

洗濯機の台が高いので、中の洗濯物が取りやすくなるようにお願いします。

仲が良かった人と別のホームになってしまって、ちょっと寂しいな。

以前のホームは道幅が狭く、送迎車が玄関先まで送迎する事ができませんでした。やっとドアツードアになって、本当に良かったです。

「なるみハイツ」と「さんたらっぶ」は閉所いたしました。また、「まーぶる」は6名定員のグループホームとして改修工事を行ない、新たな利用者にもご利用いただいています。